

2020年の東京

～大震災を乗り越え、日本の再生を牽引する～

平成23（2011）年12月

東京都

12. 四大スポーツクラスタープロジェクト

スポーツクラスターを中心に、誰もがスポーツに親しむ社会をつくる

2020年の東京の姿

- 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が実現している。
- 誰もが、いつでも、どこでも、そしていつまでも身体を動かしたくなるスポーツ環境が整備されている。
- スポーツ施設の集積であるスポーツクラスターにおいて多くの国際大会等が連続して開催され、活力あるまちが生まれている。
- アスリートの「発掘 ⇒ 育成 ⇒ 強化 ⇒ 活躍 ⇒ 地域スポーツへの貢献」という「東京アスリート・サイクル」が定着している。

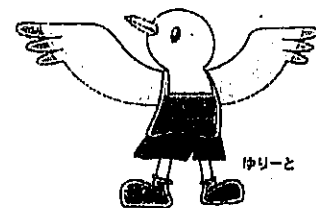
現 状

大規模スポーツ大会の積極的な開催

- ・ 平成19年より開催している「東京マラソン」は、世界トップレベルの大会に成長
- ・ 都は、国際的なスポーツ大会の開催を積極的に後押しするとともに、国内最大規模のスポーツ大会である「スポーツ祭東京2013」の開催を準備
- ・ 今後も大規模なスポーツ大会が開催できる環境を整え、継続して招致することで、「スポーツ都市東京」の魅力を世界に発信していくことが重要

<スローガン・マスコット>

東京に夢を、品々に明けたアスリート



スポーツ祭東京2013
第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会

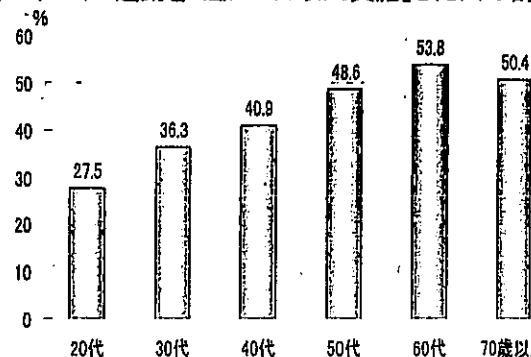
アスリートの育成支援による競技力向上

- ・ 世界の舞台で活躍できるアスリート候補の早期発掘とジュニア期からの一貫した育成を推進
- ・ 今後は育成したアスリートの力を地域へ還元できるしくみづくりが必要

スポーツ環境の整備

- ・ ランニングなどがブームになる一方、年代別に見ると20代から40代でスポーツの実施率が低い傾向
- ・ 年齢や性別、ハンディキャップの有無を問わず、誰もが、いつでも、どこでも、そしていつまでもスポーツに取り組める環境の創出が重要

<スポーツ・運動を「週に1日以上実施」した人の割合>



(資料)「スポーツ・運動に関する世論調査」より作成

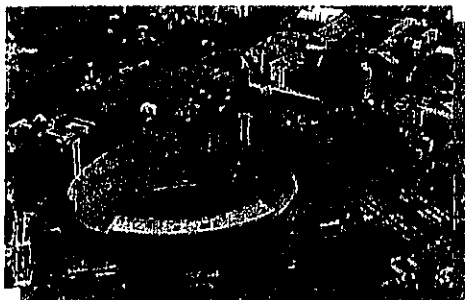
(平成21年10月 生活文化スポーツ局)

四大スポーツクラスターの整備

- ・ 大規模スポーツ施設を中心としたさまざまな施設の集積（スポーツクラスター）により、集客力の高い、賑わいあふれるエリアが生まれ、活力あるまちを再生

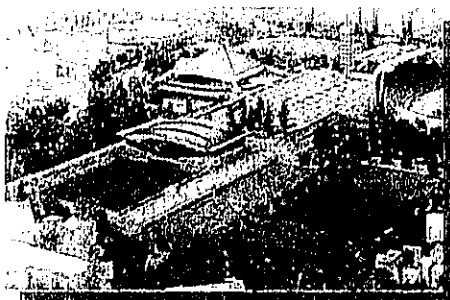
◆ 神宮地区

東京オリンピックのメイン会場であった国立霞ヶ丘競技場（国整備）を中心とした施設群



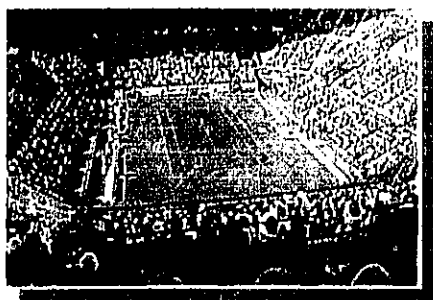
◆ 駒沢地区

東京オリンピックのレガシーを受け継ぐ、都の重要なスポーツ振興拠点のひとつ



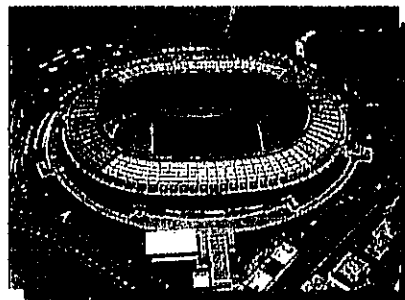
◆ 臨海地区

臨海副都心の発展に合わせて充実してきた有明コロシアム、東京辰巳国際水泳場などの施設群



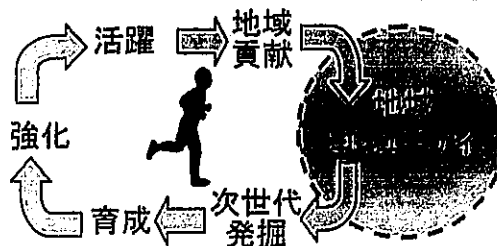
◆ 武蔵野の森地区

スポーツ祭東京2013のメイン会場である味の素スタジアムと、武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）



「東京アスリート・サイクル」の形成

- ・ 発掘・育成したアスリートが地域スポーツに貢献する「東京アスリート・サイクル」を形成



身近なスポーツ環境の整備

- ・ スポーツイベントの拡充など、都民の誰もが気軽にスポーツに取り組める環境整備を促進
- ・ 障害者スポーツの振興



©東京マラソン財団

これからの政策展開

<四大スポーツクラスターの整備>

大規模スポーツ施設を中心としたさまざまな施設の集積（スポーツクラスター）により、集客力の高い、賑わいあふれるエリアを生み出し、スポーツ振興とともに、活力あるまちの再生を実現する。

- ・ 四大スポーツクラスターを整備し、国際的な大会の招致を進めることで、都民のスポーツ熱を高めるとともに、クラスターとリンクしたまちづくりを実現する。

四大スポーツクラスター

① 神宮地区

昭和39年の東京オリンピックにおけるメイン会場であった神宮地区一帯は、秩父宮ラグビー場など多くのスポーツ施設を有する。国立霞ヶ丘競技場の国による建替えにより、「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会」では、再びメインスタジアムとなることが期待されている。

② 駒沢地区

東京オリンピックのレガシー（遺産）を受け継ぐ施設。「スポーツ祭東京2013」の開催に合わせて施設を改修し、ユニバーサルデザインなど各施設の機能向上を図ることで、都のスポーツ振興拠点として更に重要な役割を担う。

③ 武蔵野の森地区

平成25年開催の「スポーツ祭東京2013」のメイン会場である味の素スタジアムに隣接する都営地に、補助競技場や国際大会が開催できるメインアリーナ等の施設群を整備し、多摩地域のスポーツ振興拠点を形成する。

④ 臨海地区

有明コロシアムをはじめ、東京辰巳国際水泳場やお台場ランニングコースなど、臨海地区には多くのスポーツ施設が集積している。臨海副都心の発展に合わせてスポーツ施設を充実し、一大クラスターを形成していく。

